

まちの話題



手を取り合って元気なまちに！



11月25日(金)に明治安田生命保険相互会社岐阜支社(岐阜市)より、社会福祉事業(地域住民の健康増進)に対して30万3500円を寄附していただきました。同社は地域に密着した生命保険会社を目指し、地域の住民の暮らし・健康を豊かにするための取り組みを全国各地で展開しています。

大橋孝町長は「今後とも健康増進をはじめとした地域課題の解決に向け、自治体・地域と民間企業とが手と手を取り合って、効果的な取り組みを実施していきたい」と話しました。

いただいた寄附は、町の健康増進事業に対して有効に活用させていただきます。

持ち味を発揮し、全国優勝へ



11月20日(日)に東京都で開催される第16回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会に出場することを報告するために、桜塾の川瀬翔選手、岩永唯伽選手、松田流誠選手、松田泰正選手、田中颯磨選手が11月8日(火)に大橋孝町長を訪問しました。

選手たちは「自分の持ち味を発揮したいです」、「強敵ばかりですが、優勝したいです」と全国大会への思いを力強く語りました。大橋町長は「万全のコンディションで挑み、いい結果を報告してくれることを期待しています」と激励しました。

新春!?マラソン大会!!

降雪などの影響により、1月から延期となっていた第15回養老新春マラソン大会が11月27日(日)に開催されました。参加者はスマイルランドをスタートし、商店街を駆け抜けました。ゴール間際まで抜きつ抜かれつの接戦が繰り広げられ、寒さを吹き飛ばす熱い戦いとなりました。



ぽかぽか言葉があふれるまちへ



12月1日(木)に上多度小学校にて全校児童を対象として、大垣人権擁護委員協議会 人権創作劇委員会により人権教室が開催されました。同委員会は西濃地域のこども園や小学校などで創作劇を披露し、人権啓発活動を行っています。

委員の田中敬一さんは「相手を思いやることで、自分の心もぽかぽかします。皆さんも助け合って仲良く過ごし、ぽかぽか言葉がいっぱいの学校にしてください」と話し、児童たちは劇や話から人権を大切にすることはということなのか考えました。

観光のまちづくりに奔走



観光の発展に対する尽力やこれまでの功績が認められ、旭日双光章を受章した中村一さん(養老公園)がその報告をするために12月1日(木)に大橋孝町長を訪問しました。中村さんは日本旅館協会の副会長をはじめ、県観光協会理事や町観光協会会長などを務め、観光の発展のために人生を捧げてきました。

中村さんは「今、産業としての観光に対する意識が変わってきています。今回の受章を期に周りに対する感謝の気持ちと恩返しを忘れず、更なる町の観光の発展のために寄与していきたいです」と今後への意欲を話しました。